

とっておきのしゃぼんだまをつくろう！

学年・教科	第1学年・生活科
単元名	なつとなかよし
学習テーマ	自分で考えたとっておきのシャボン玉を作ろう
関連SDGs	12 つくる責任 つかう責任

単元情報

(1) 単元計画の概要

本単元は、小学校学習指導要領（平成29年）解説生活編、内容（6）に基づき設定した。学習指導要領には、次のように示されている。

（6）身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。

本単元のねらいは、試行錯誤を繰り返しながら、遊び自体を工夫したり、遊びに使う物を工夫してつくったりして考えを巡らせることである。シャボン玉遊びは、ほとんどの児童が経験したことのある児童にとって大変身近な遊びである。また、吹き方や道具を変えることで、もっと楽しくなるように工夫することのできる遊びである。例えば、息の強さを変えて吹くことで違う大きさのシャボン玉を作ることができたり、道具を変えることで一気に多くのシャボン玉を作ることができたりする。そのため、シャボン玉遊びを通して、児童はいろいろなことを発見し、友達と協力したり競い合ったりしながら、次々と遊びを展開していくことが期待される。

児童は、このシャボン玉遊びをする中で、「もっと大きなシャボン玉をつくりたい」「形の違うシャボン玉をつくりたい」などという思いや願いをもつだろう。その思いや願いの実現に向けて、自分が「作ってみたい」と思うこだわりのシャボン玉を作るにはどうしたらいいのかを考えたり、吹き方やストローなどの材料を工夫し、試行錯誤したりしながら活動する。その過程で、「モールを使ったら、シャボン液がたくさん付いて、もっと大きなシャボン玉が作れると思ったのに、大きくならなかったよ。」「ハート型のシャボン玉を作るためにハンガーをハート型にしたのに、いつもと同じ丸いシャボン玉ができたよ。」等、自分の見通しと事実が異なるという体験をすることもあろう。また、「やっぱりこうなった。」というきまりのようなものを見つけることもできるだろう。このような体験を積み重ねることで、自然のもつ不思議さを実感し、事象を注意深く観察したり、予想を確かめたりする等の理科の見方、考え方の素地を養っていきたい。

(2) 育成したい21世紀型スキル（資質・能力）

【自発性】

- ・自ら課題を見つけ、チャレンジする力。
- ・自ら学習の進捗管理をする。

【コミュニケーション能力】

- ・伝える能力。
- ・受け取る能力。

(3) 単元の目標

小さな失敗や成功を繰り返しながら、シャボン玉遊びに使う物を工夫することで、シャボン玉の不思議さや面白さに気づき、友達と遊びを楽しむことができるようにする。

(4) 他の単元との関連

- ・道徳科「ひまわりのじゅうたん」(2月)
- ・生活科「ひろがれえがお」(12月)
- ・生活科「もうすぐ2年生」(3月)
- ・国語科「ききたいな、ともだちのはなし」(9月)

児童の実態

(1) 児童の実態

本学級の児童は、好奇心旺盛で、様々な体験活動に意欲的に取り組むことができる。特に、自分の好きなことや興味のあることに対しては熱中して取り組む。しかし、その反面、自分の好きではないことや興味のないことに対しては集中力が持続しない児童がいる。また、周りの状況を読めずにマイペースな行動をとってしまう児童もいる。

前単元「げんきにそだて わたしのはな」では、朝顔を育てる学習をした。この単元では、順調に育っていた朝顔の成長が止まり、なかなか花が咲かなかったり、葉っぱが下を向いて元気がなくなったりしている様子を心配した児童と共に「あさがおげんきになーれ」の活動を行った。ここでは、朝顔を元気にするためにはどうしたら良いかを自分たちで考えそれぞれ5つのグループ(①しっかり水をあげる【ペットボトル1本以上】 ②水をあげすぎない【ペットボトル半分】 ③応援をする ④朝に水をあげる ⑤太陽をなくす)で実験を行った。この学習を通して、本学級の児童は多くの気づきや方法を見付けることができたことから、課題を見付け、解決するための方法を考える力は身に付きつつあると考えられる。しかし、自分の考えをもっていても周りの意見に流されてしまったり、友達の意見を受け入れてしまったりする児童がいるので、自分の考えを貫いていけるように「自分の考えた方法で試してみたらいいんだよ。」「とっても良い考えだね。」等、自信がもてるような声掛けをしていきたい。

(2) 資質・能力に係る状況

「自発性」においては、入学当初と比べると少しずつだが、自分たちで学習課題に対して「～をしてみたい。」「～ができるようになりたい。」等の思いをもつことができるようになってきている。しかし「そのためには、どうしたらいいかな?」と尋ねると方法までを答えられる児童は少ない。そこで、自分で考えることができた児童の方法を共有し、自分なりの方法をもつことができるように知識を蓄積させていく。

「コミュニケーション能力」においては、課題に対する自分の考えを答えたり、相手に説明したりすることはほとんどの児童ができています。また、相手の考えを聞いて、分からなければ「どういうことですか?」等、質問することもできる。しかし、答え方が分からず固まってしまう児童も中にはいる。授業ではペアトークやグループトークを適宜設定し、自分の考えを相手に伝えることのできる力を付けさせていく。

単元指針

(1) プロジェクト型アプローチの視点

- ・「もっと大きいシャボン玉を作りたい。」「たくさんのシャボン玉を作りたい。」等、児童が思いを膨らませることができるように、友達と比べたり繰り返し試したりする時間を確保する。
- ・児童が自分の思いを叶えるために、試行錯誤しながら学習を進めることができるように、様々な材料を準備する。

(2) 評価規準

【知識・技能】	【思考・表現・判断】	【主体的に学習に取り組む態度】
①シャボン玉を使って楽しく遊べることや、それらの性質の不思議さ等に気付いている。	①自分の意見を伝えたり、相手の意見を理解しながら受け止めたりすることができる。 ②予想したり、確かめたり、見立てたりしながら、自分なりの遊び方を工夫している。	①自分で考えて、課題を見出し、関連した学習に取り組むことができる。 ②シャボン玉で楽しく遊びたいという願いをもち、粘り強く遊びを創り出そうとしている。

(3) 質問

本質的な問い	とっておきのシャボン玉を作るには？
単元を貫く問い	とっておきのシャボン玉を作るにはどうしたらいいだろう。

学習活動の構想

学習段階	学習活動 (○個別の問い・児童の活動)	評価		教材および ICT 活用
		評価規準	評価方法	
課題の設定 (2時間)	○ストローを使ってシャボン玉を作ってみよう。 ・シャボン玉についてのアンケートに答える。 ・学習の見通しをもつ。 ・どんなシャボン玉が作れるか予想し、予想したことを伝え合う。 ・ストローを使ってシャボン玉を作る。	【知①】 シャボン玉を使って楽しく遊べることや、それらの性質の不思議さ等に気付いている。	行動・発言 ワークシート	
情報収集・ 整理・分析 (2時間)	○自分のとっておきのシャボン玉を決めよう。 ・本やインターネットを使ってシャボン玉を作る方法について知る。 ・思いが同じ人同士のグループを作る。 ・次回の作戦をたてる。	【主①】 自分で考えて、課題を見出し、関連した学習に取り組むことができる。	行動・発言 ワークシート	YouTube・ インターネット等

表現・実行 【本時は 3/4】	<ul style="list-style-type: none"> ○とっておきのシャボン玉を作ってみよう。 •とっておきのシャボン玉を作るために考えた自分の道具を紹介する。 •どんなシャボン玉が作れるか予想し、予想したことを伝え合う。 •自分が考えた道具を使って、とっておきのシャボン玉を作る。 •作ってみて成功したことや、失敗したこと等を全体で交流する。 •道具を見直す。 •次回の作戦をたてる。 	<p>【思①】 自分の意見を伝えたり、相手の意見を理解しながら受け止めたりすることができる。</p> <p>【思②】 予想したり、確かめたり、見立てたりしながら、自分なりの遊び方を工夫している。</p>	行動・発言 ワークシート 製作物	クロームブックのカメラ ・動画機能
課題の設定 整理・分析 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○自分のとっておきのシャボン玉を決めよう。 ○シャボン玉ショーに向けて、道具を完成させよう。 •思いが同じ人で集まって、成功したことや失敗したことを基に、道具を改良する。 	<p>【主②】 シャボン玉で楽しく遊びたいという願いをもち、粘り強く遊びを創り出そうとしている。</p>	行動・発言 ワークシート 製作物	クロームブックのカメラ ・動画機能
表現・実行 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○シャボン玉ショーを開いて、とっておきのシャボン玉を発表しよう。 •出来上がった道具を使って、シャボン玉ショーを開く。 	<p>【思②】 予想したり、確かめたり、見立てたりしながら、自分なりの遊び方を工夫している。</p>	行動・発言 ワークシート 製作物	クロームブックのカメラ ・動画機能
まとめ・ 振り返り (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○とっておきのシャボン玉を作ることはできたか振り返ろう。 •活動を振り返り、今回の活動でできるようになったこと、これから付けたい力を整理する。 	<p>【主①】 自分で考えて、課題を見出し、関連した学習に取り組むことができる。</p>	行動・発言 ワークシート	

本時の目標

自分の思いや願いに沿ったシャボン玉を作るために、試行錯誤を繰り返し、自分なりに道具や道具の使い方等を工夫することができる。

準備物 シャボン液、大きなたらい、実験道具、クロームブック

本時の学習内容






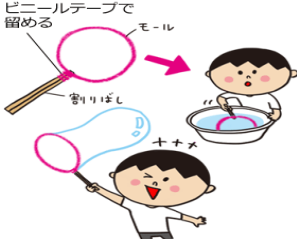




学習段階	学習活動 (Q 主な発問・児童の反応)	教師の動き (指導上の留意点)	評価規準
1. これまでの学習を振り返る。	<p>Q にとっておきのシャボン玉を作るために考えた自分の道具を紹介しましょう。また、どんなシャボン玉が作れるか予想していることも話しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ハンガーを丸くしたものを作りました。大きなシャボン玉ができると思います。 モールをハートの形にしたものを作りました。ハート形のシャボン玉ができると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時までに作った道具を見せながら、説明する場を設けることで、本時の活動の見通しと意欲をもたせる。 	
2. 本時の課題を確かめる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> とっておきのしゃぼんだまをつくろう。 </div>		
3. 共通の思いをもった友達と、相談しながら考えた作り方を試す。	<p>Q それぞれのグループに分かれて、とっておきのシャボン玉作りをしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 上手にできました。 上手にできません。どうしたらいいかな。 <ul style="list-style-type: none"> ハンガーに液をつけているのに、つきません。 ハンガーに毛糸をまいたら、液がつきました。 やってみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が進んでシャボン玉の作り方を工夫することができるよう、失敗も認め、改良していくことに目を向けさせるとともに、グループで相談したり、自分で考えたりしながら活動するように促す。 共通の思いをもっている者同士で活動することで、友達同士で教え合ったり、比べたり、試したりできるようにする。 クロームブックで写真や動画を撮りながら活動させることで、振り返りの際に活用できるようにする。 	製作物 行動・発言 【思②】 予想したり、確かめたり、見立てたりしながら、自分なりの遊び方を工夫している。
4. 成功したことや失敗したことを全体で交流する。	<p>Q 上手にできたことや、上手にできなかったことを教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ハンガーを丸くして、ゆっくり動かしたら大きいシャボン玉ができました。 ハート型のシャボン玉を作りたいのに、丸い形しかできません。 	<ul style="list-style-type: none"> 思いに合ったシャボン玉ができない児童には、どんなことで困っているのかを問いかけ、必要としているものを聞いたり、上手くできている児童と比較させたりする。 	

5.道具を見直す。	Q 上手にできた友達の意見を聞いて、自分の道具を見直しましょう。	• 友達の意見を聞いて自分の道具をより良いものに修正させる。
6.振り返りをする。	Q 振り返りをしましょう。 • ハート型のシャボン玉はできないことが分かりました。 • ハンガーにモールや毛糸を巻いた方が大きなシャボン玉を作りやすいです。	• 資質・能力の自己評価用ルーブリックと照らし合わせ自己評価を行わせる。

評価ツール

【資質・能力の自己評価用ルーブリック】

①自発性

じはつせい				
じぶんであてをみつけて ちゃんじするから	/	<p>とっておきのしゃぼんだまのつくりかたをかんがえ、ともだちのいいところをみつけて、とりいれてあそんでいる。</p> 	<p>とっておきのしゃぼんだまのつくりかたをかんがえながらあそんでいる。</p> 	<p>ただしゃぼんだまあそびをしている。</p> 
じぶんでがくしゅうを すすめるから		<p>じょうずにできたことや、できなかったことをふりかえり、つぎのさくせんをかんがえながらあそんでいる。</p> 	<p>じょうずにできたことや、できなかったことをふりかえりながらあそんでいる。</p> 	<p>じょうずにできたことや、できなかったことをふりかえりながらあそんでない。</p> 

②創造性

コミュニケーションのうりよく				
つたえぬちから	<p>じぶんのかんがえをつたえたり，ともだちのかんがえをきいてくらべたりしながら，あたらしいかんがえをはなしている。</p> 	<p>じぶんのかんがえをりゆうをつけてせつめいできる。</p> 	<p>じぶんのかんがえをともだちにせつめいできる。</p> 	<p>じぶんのかんがえをともだちにはなしていない。</p> 
つけとぬちから	<p>ともだちのかんがえをきいて，いいところをみつけたり，じぶんとちがうところをみつけたりしている。</p> 	<p>うなずいたり，へんじをしたりしながらはなしをきくことができる。</p> 	<p>ともだちのはなしを，ともだちのほうをむいてきくことができる。</p> 	<p>ともだちのはなしをきいていない，ともだちがなにをはなしたのか，わからない。</p> 